

第53回 音楽と祈りの夕べ

いのち～被災地は今～

震災と津波から4年経った今、「いのちのステージ」を通して復興へと向かう被災地の人々を知り、いのちに寄り添いたい…

地域のスプラッシュ

震災特別編「いのちのステージ」



日時：3月8日（日）

15:00～17:00

（開場14:30、開演15:00）

会場：カトリック小倉教会

入場料：（高校生以上）1,000円
（中学生まで 無料）

主催：東日本大震災被災地支援「音楽と祈りの夕べ」実行委員会

後援：カトリック福岡司教区震災被災者支援室

問合せ先：電話 093-953-6161 ピュアパソコン倶楽部

※ 当日、お車の駐車はできません。ご来場の際は公共交通機関を利用するか近隣の有料駐車場をお使いください。

第53回 音楽と祈りの夕べ

いのち～被災地は今～

震災と津波から4年経った今、「いのちのステージ」を通して復興へと向かう被災地の人々を知り、いのちに寄り添いたい…

地球のステージ

震災特別編「いのちのステージ」



日時: 3月8日(日)

15:00~17:00

開場 14:30 開演 15:00

会場: カトリック小倉教会

入場料: 高校生以上 1,000円

(中学生まで無料)

プログラム

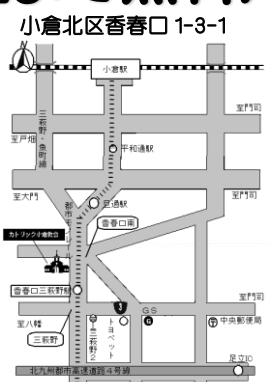
- ①開演挨拶・黙祷～
- ②オルガン演奏と歌唱
- ③地球のステージ 震災特別編「いのちのステージ」
- ④沈黙の祈り～
- ⑤閉演挨拶

主催: 東日本大震災被災地支援「音楽と祈りの夕べ」実行委員会

後援: カトリック福岡司教区震災被災者支援室

問合せ先: 電話 093-953-6161 ピュアパソコン倶楽部

※ 当日、お車の駐車はできません。ご来場の際は公共交通機関を利用するか近隣の有料駐車場をお使いください。



第53回 音楽と祈りの夕べ いのち ～被災地は今～

震災と津波から4年経った今、「いのちのステージ」を通して復興に向かう被災地の人々を知り、いのちに寄り添いたい…

音楽と祈りの夕べ

東日本大震災被災地支援「音楽と祈りの夕べ」は、被災した人々の心に寄り添いたいと考え、被災者の心のケアをする医師、桑山紀彦さんが代表を務めるNPO法人「地球のステージ」の活動に共感し津波に関する資料館「閉上の記憶」建設運営などの具体的な支援として、震災発生後まもない頃から北九州の小倉教会で祈りと音楽と歌の集いを続け、皆様から寄せられた義援金を贈らせていただいています。(総額100万円以上)震災から4年が経とうとする今、様々な想いを乗り越え復興へと向かう被災地の人々と共にありたいと願い、今回、桑山さんにステージを通して語っていただきたいとお願いしました。

地球のステージ

心療内科医をしている桑山紀彦がステージの案内役です。彼はこれまで世界57カ国を歩き、特に紛争や戦闘、自然災害などで被災した国々で国際医療救援活動を展開してきました。これまでにAMD A (アジア医師連絡協議会)、J E N (日本緊急救援NGO)、NICCO (日本国際民間協力会)、I V Y (国際ボランティアセンター山形) に所属しながら医者として、ボランティアとして海外支援活動を行い。撮りためたビデオ映像や写真、その時々々に医者として人間として感じ見つめた **いのちの輝き 平和の尊さ** をライブ音楽にして、大画面の映像、スライドによる語りを組み合わせ、まったく新しいタイプの「非営利」「コンサート・ステージ」を行っています。

「地球のステージ」とは、世界で起きている様々な出来事を、講演形式ではなく、音楽と大画面のビデオ、スライドに写しだし、語りと自作の曲で構成していく「映像と音楽のシンクロ」ステージです。

桑山紀彦は現在 NPO 法人「地球のステージ」の代表理事として、災害時の緊急医療支援や、紛争地や被災地で心に傷を負った人への心理社会的ケア(心のケア)を中心として海外支援活動を続けています。NGO活動をしてきた桑山の集大成がこの「地球のステージ」といえます。

また今回3月8日(日)に行われるステージでは「地球のステージ震災特別編～いのちのステージ～」を上演します。震災と津波のみの構成で「いのちのステージ」を構成し、後半は復興や希望が見えてきます。一切外国が出てこないバージョンですが、「いのち」をテーマに震災を伝えるものです。

日時:3月8日(日)

15:00~17:00

(開場14:30 開演15:00)

会場:カトリック小倉教会

入場料:高校生以上1,000円

(中学生まで無料)

プログラム

- 開演挨拶・黙祷
- オルガン演奏と歌唱
- 地球のステージ
震災特別編～いのちのステージ
- 沈黙の祈り
- 閉演挨拶

出演者

宮崎裕之 (小倉教会オルガニスト)



日本福祉大学卒業後、北九州市福祉事業団、その後民間の障害児・者施設に勤務し作曲と幾つかのタイプのコンサートを開始する。作品に「主の祈り」、「アヴェ・マリア」、レクト・トーンによる「ヨハネ受難曲」、島比呂志の詩による混声合唱曲「凝視」・「海の沙」、金子みすゞの詩による「金子みすゞコスモロジー」・「三稜鏡」大越桂の詩による「いのちのことば」(全10曲)など。

綾部勤子 (明治学園小学校教諭)



東京学芸大学教育学部音楽科卒業。オペラ「忘れられた少年」、金子みすゞコンサートなどに出演。2012年までベルカント唱法を研究する「カント・イタリアーノ福岡」会員として、ルチアノ・ベルタニョリオ師の指導を受け演奏活動を行う。

桑山紀彦 (心療内科医)



「いのちを語りつくす会」と認定NPO法人地球のステージ代表理事。世界各地の災害や紛争地で緊急医療支援や心のケアを展開。